

## 平成28年度技術試験事務成果報告書の概要

案件名	漏えい電波からの無線設備保護に向けた技術基準に関する調査検討
契約先	エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー株式会社

## 1 目的及び成果目標

近年、無線で給電可能なワイヤレス電力伝送システム（WPT）、超音波洗浄機や電磁誘導式加熱式機器等の、昭和25年の電波法制定時には存在しなかった新たな種類の高周波利用設備が普及・拡大している。このような新たな設備の普及を踏まえ、高周波利用設備と無線設備との電波の共用条件として、現状の技術基準が適切であるかどうかについて調査検討によって明らかにし、高周波出力の基準や漏えい電波から無線設備を保護するための技術基準の見直しに資することで、周波数ひっ迫状況の改善に貢献する。

## 2 試験実施概要

平成28年度調査では、高周波利用設備の利用実態の把握を進めるとともに、漏えい電磁波（電波）の測定を行うために、電波法やCISPR（国際無線障害特別委員会）規格等を参考として漏えい電波の測定手法の検討を実施した。

また、国内で多数利用されている高周波利用設備を分類して漏えい電波の実態のサンプル調査を実施した。

さらに、取得した漏えい電波の実態の特性を基として、無線設備と共存するために必要となる干渉評価モデルの検討・構築を実施した。

## 3 得られた成果

本年度調査により、漏えい電波の基本的な測定法を確立し、また、高周波利用設備の設備分類と漏えい電波の特徴例から関係性を得ることで、今後の高周波利用設備からの漏えい電波の詳細な実態把握のための基礎検討が完了した。

また、無線局との共存・共用条件の具体的な検討に向けて、必要な諸条件や、漏えい電波の干渉評価方法等、共用検討のための基礎的な方針検討が完了した。

お問い合わせ先	総務省総合通信基盤局電波部 電波環境課電磁障害係 電話：03-5253-5905（直通）
---------	--